



あすなる

ASUNARO-INSTITUTION



ケアホーム柳崎

胆振東部地震において被災された皆様に
心よりお見舞い申し上げます

社会福祉法人 江差福祉会 運営施設一覧

【施設入所支援・生活介護事業所】

あすなる学園

【就労継続支援B型・生活介護事業所】

あすなるアクティビティセンター

従たる事業所【生活介護事業所】

繁次郎

【就労継続支援B型事業所】

あすなるパン

【就労継続支援B型・生活介護事業所】

あすなるケータリングセンター

【就労継続支援B型・生活介護事業所】

あすなる新地センター

【生活介護事業所】

あすなる地域交流センター

【就労継続支援B型・生活介護事業所】

あすなる日明センター

【障害者相談支援・特定相談支援・障害児相談支援事業所】

あすなる相談支援センター

(江差町・乙部町・厚沢部町・奥尻町指定委託事業)

【就労継続支援A型事業所】

バリアフリーホテルあすなる

【就労継続支援A型事業所】

あすなるFDセンター

【就労継続支援B型事業所】

知内FDセンター

【知的障がい者グループホーム】

はまなす荘	ケアホームじんや
はらだハイツ	ケアホーム伏木戸
メゾンドフェミニム	第2ケアホーム伏木戸
番重ホー ム	第3ケアホーム伏木戸
乙部緑町寮	ケアホームおま丘
南ヶ丘女子寮	ケアホーム南ヶ丘
第2南ヶ丘女子寮	第2ケアホーム南ヶ丘
尾山第3寮	第1ケアホーム本町
尾山第4寮	第2ケアホーム本町
松林ホー ム	第2ケアホーム尾山
村田ホー ム	ケアホームしんちた
みん家の	ケアホームなかうた
ケアホーム円山	ケアホーム湯ノ里1
ケアホーム茂尻	ケアホーム湯ノ里2
ケアホーム尾山	ケアホーム湯ノ里3
ケアホームたざわ	ケアホーム柳崎
ケアホーム砂川	

【認知症対応型共同生活介護施設】

シルバーハウスケープ赤石
シルバーハウス第2ケープ赤石

地域福祉の先駆的実践に努力



援護会長 中 村 彰

清秋の候、関係機関・各位におかれましては日頃より、当福社会事業の推進に関わりまして格別なるご理解ご支援をいただき深く感謝を申し上げます。

この度の胆振東部地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、江差福社会あすなろ学園は年々利用される皆さんの増加に伴い施設の拡充が進められ 11 施設・GH 12 棟・CH 21 棟、入所・通所の利用者合わせて 407 名、職員 180 名となりました。

平成 29 年度を振り返ってみますと、予想される利用者の増加に伴い施設の拡充は緊要の課題でしたが、平成 30 年 4 月 6 日には知内町様のご支援をいただき「知内FDセンター」の落成式が盛大に行われ、現在 30 名の皆さんが知内町産の米を使った災害備蓄用商品の開発・製造に向け活動中であります。

本年度も、樋口理事長（総合施設長）のもと着実に実績を伸ばしております。先般 6 月には理事会・評議員会・7 月には後援会役員会が開催され、その中で現在の施設運営状況について報告され各福祉事業は堅調であります。

厚生面で、利用者の高齢化に伴い逝去された方等あすなろ縁故者の永代供養塔



彼岸花です。
我が家の前庭の木陰に3年に一度、
秋に咲いています。

建立が決定されました。また、運動会やお食事、音楽鑑賞、国内外の研修旅行等を通して見聞を広め充実した毎日であることを願っております。

結びになりますが、江差福社会あすなろ学園の更なる発展と学園関係各位並びに後援会員の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げご挨拶と致します。

平成29年度 作業工賃の報告

就労支援事業の作業工賃支給額の低迷が課題とされている中で、何故、当法人は高い作業工賃を確保出来ているのでしょうか・・・。

仕事に向かう姿はまさに真剣そのものです。そこには職員も利用者もありません。

働く事を通じて社会参加する喜びとそれに見合った対価保障を得る事で、自信に繋がり、責任感の養成に繋がっています。

自分の居場所や存在する意味、必要とされている実感は、人として誰もが感じたい事なのです。働く喜びを得た皆さんの力は無限大です。そこにwelfareの本質が存在すると当法人は考えます。

【平成29年度施設別作業工賃実績】

就労継続支援事業の月別平均作業工賃支給額です。

施設区分	施設名	作業内容①	作業内容②	作業内容③	定員数	1日の平均作業時間	一ヶ月の平均工賃
就労継続支援B型	社会福祉法人 江差福祉会 あすなるアクティビティセンター	利用者昼食・弁当・オードブルの製造	道立江差病院レストラン・売店の営業	繁次郎温泉の営業	30名	5.9	¥47,500
	社会福祉法人 江差福祉会 あすなるパン	長期保存缶入りパン製造	パン製造	施設内カフェテリアの営業	50名	5.3	¥83,333
	社会福祉法人 江差福祉会 あすなるケータリングセンター	利用者朝・夕食の製造	檜山振興局レストランの営業	道路開発事務所食堂の営業	30名	5.3	¥46,685
	社会福祉法人 江差福祉会 あすなる新地センター	パン・惣菜製造	施設内カフェテリアの営業	陶器・雑貨類販売	40名	5.5	¥10,000
	社会福祉法人 江差福祉会 あすなる日明センター	フリーズドライ製品の製造			30名	5	¥65,833
就労継続支援A型	社会福祉法人 江差福祉会 バリアフリーホテルあすなる	ホテル業務全般			20名	5	¥89,173
	社会福祉法人 江差福祉会 あすなるFDセンター	長期保存エコパッケージパン・フリーズドライ製品の製造			20名	5.5	¥117,500

【参考1】

〈北海道における平均工賃（賃金）〉 ※平成28年度最終版
月額 27,881円

うち、就労継続支援A型事業所 月額 67,911円
(雇用型68,469円、非雇用型29,238円)

うち、就労継続支援B型事業所 月額 18,213円、
時間額 227円

※上位下位25%を除いた 平均工賃月額 14,282円
平均工賃時間額 207円

【参考2】

平成28年度平均工賃（賃金） 全国版

施設種別	平均工賃（賃金）		施設数 (箇所)	平成27年度（参考）	
	月額	時間額		月額	時間額
就労継続支援 B型事業所 (対前年比)	15,295円 (101.7%)	199円 (103.1%)	10,434	15,033円	193円
就労継続支援 A型事業所 (対前年比)	70,720円 (104.3%)	795円 (103.4%)	3,385	67,795円	769円

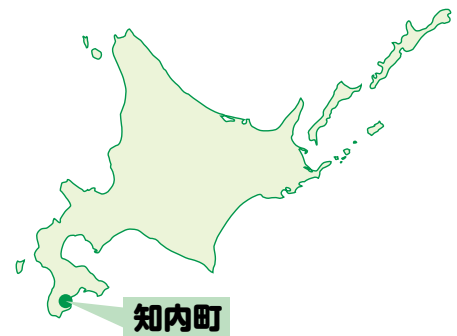


樋口理事長がラジオ出演しました

平成30年8月28日、STVラジオ「牧やすまさ 路地裏のスピリッツ（パーソナリティ：牧やすまさ ほか）」の『ふれあい広場サンデー九』のコーナーに樋口理事長が出演しました。



平成30年4月1日、知内FDセンターが開設しました。 江差福祉社会が渡島管内に事業拡大しました。



知内FDセンターは、今年度4月1日に就労継続支援B型施設(定員30名)として事業を開始しました。当法人の中では、災害備蓄商品の製造施設として4番目となりますが、檜山から渡島への進出の第一歩として、渡島西部4町の福祉的就労の拠点として役割を果たしていきたいと考えています。

事業内容は、小麦アレルギーに対応した食品ニーズの高まりに対応するべく、米粉を当法人が得意とするフリーズドライ加工技術を用いて付加価値をつけ出荷していきます。

現段階ではフル稼働と至っていませんが、作業工賃の確保と向上を目標に皆で力を合わせて取り組んでいきます。

作業施設概要



【FD室】2機のFD機があり、フリーズドライはここで行われます。北海道でもまだ数台しかない大変貴重な機械です。



【見学者ホール室】施設見学の際、作業風景をここからご覧いただけます。主に加工作業室、包装仕上室、出荷前作業室がご覧頂けます。



【エアシャワー】エアシャワーによるクリーンルームが出入り口に設置。作業者に付着した汚染物を作業所内に持ち込むことを防止する装置です。



【下処理室】原材料は、搬入口から検収前室、検収室でチェック後に材料室へ、そして下処理室に運ばれてきます。



【加工作業室】加工作業室は2箇所、包装作業室、出荷前作業室があり、作業の効率化を図っています。



落成式

次第

- 1.司会 知内FDセンター 岩泉 千春
- 2.理事長挨拶 江差福祉会 理事長 樋口 英俊
- 3.祝辞 知内町町長 大野 幸孝 様
- 4.来賓紹介 道南うみ街信用金庫 理事長 藤谷 直久 様
- 5.祝電・メッセージ披露
- 6.感謝状贈呈
○知内FDセンター開設に対して
株式会社 建築設計工房ロコス 代表取締役 前田 健二 様
株式会社 今井工務店 代表取締役 斉藤 善美 様
- 7.利用者・職員紹介 施設長 松崎 輝幸
- 8.お礼の言葉
知内FDセンター利用者代表 小林 勇太 松尾 彩佳

小宴

- 1.開会の言葉及び祝杯 知内町議会議長 伊藤 政博 様
- 2.記念演奏 法人施設利用者代表 蛭名 諒
- 3.閉会の言葉
○災害備蓄食品の委託法人を代表して
社会福祉法人 HOP 理事長 竹田 保 様



ケアホーム湯ノ里



新天地歴史の町道南江差町に赴任して

この10月で江差福祉会に活動の場として札幌より居を移し早いもので半年が過ぎようとしていますが、今はただただこの法人理事長の理念の奥深さや（8月28日STVラジオ番組ふれあい広場サンデー九でパーソナリティの牧やすまささんとの対談で全道に広く周知されました。）、また活動の規模の大きさにも日々驚嘆しています。（運動会450名の参加者・東京社会見学参加者200名・更に11月には恒例の海外旅行等々）

この半年間、北海道では天候不順、水害、地震による大規模停電等で被害にあわれた方々には心を痛み、被災地には当法人で製造している備蓄関係の品を送らせて頂きましたが、我々が日々取り組んでいる事業の社会性、重要性、公益性を改めて強く感じました。

今後は歴史の町江差・追分のまち江差に加えて新たに福祉の街江差と云われるような活動の一端を担っていきたいと思います。

まだまだ、不慣れではありますがこれからも宜しくお願い申し上げます。

江差福祉会 総合施設長代理
近藤 勝行

今年も遊ぶ。遊ぶ。

仕事の充実は、遊ぶ楽しさがあってこそ。

当法人の運営3理念の一つである旅行の実践“遊ぶ”という事への追究。

どこの施設とも、法人とも違うのがまず規模です。

海外でも150名は当たり前。国内ともなると新幹線や飛行機をフル活用します。

健常者と同じ指定席で普通に移動します。

そこに学びがあるのだと思います。

宿泊先、一つをとってもそうです。

バリアフリーという言葉が定着した昨今でも私達支援員側からすると、ハード面ばかりのバリアフリーに映る事もあります。

そんな中で宿泊先に選ばれるのではなく、当法人が選ぶのです。

その答えが東北旅行での宿泊先となった、「佐勤」の実現になるのだと思います。

宿泊料金に見合うだけのサービスがそこにありました。

そんな経験の一つ一つが、利用者さんの社会的自立を生むのだと思います。

独力で道を切り開く当法人の歩みはまだまだ続きます。

東北旅行 (2/25 ~ 2/27)

1日目は新幹線で盛岡へ。昼食は、わんこそばチーム (35名) と盛岡冷麺・焼肉チーム (65名) の2班に分かれて食事をしました。

2日目は新幹線で仙台へ。仙台では食事買い物に、と思いきいの時間を楽しみました。

そして、宿泊先である「伝承千年の宿 佐勤」へ。1泊3万円を超える高級旅館という事もあり、客室も圧巻でした。夕食では、活アワビや仙台牛を堪能しました。本当に美味しかったです。また、夕食だけではなく朝食にも驚きました。ミネラルウォーターだけでも5種類が並んでおり、温野菜一つをとっても素材の味が失われておらず、朝食と思えないほどの内容でありました。

3日目は青葉城址見学の後、帰路につきました。

1日目 わんこそばチーム



1日目 冷麺・焼肉チーム



1日目 紫苑



2日目 佐勤



法人大運動会 & 夜の打ち上げ

今年の優勝はあすなるケータリングセンターでした。おめでとう！！



国際交流

当法人と姉妹提携しているカーリシルタの方々が来日されるという事で、当法人のフィギャーノートの普及活動をしている東京の狛江市にあるHAPPY MUSEの方々と音楽を通して交流を行いました。

当法人とカーリシルタの方々は、2年に1度のペースで音楽や芸術の交流を行っており、今回は音楽交流という事で、東京での音楽コンサートを開催致しました。

カーリシルタの方々が来日した日は、胆振東部地震に見舞われた為、急遽予定を変更し北海道入りはせずに東京のみの滞在になってしまいましたが、東京観光を楽しんで頂けたようでした。

パークゴルフ

地域との交流の一つとして、今年度新たな取り組みとして、毎月定例でパークゴルフに参加しています。

アジアンプロレス

今年も呼んじやいました、アジアンプロレス。大盛り上がりでした。



江差福祉会からのお知らせ

10月1日より、ソフトクリームがリニューアルされました。
八雲の元山牧場との契約により、江差町で元山牧場の無調整牛乳を味わえる事になりました。
販売先は、『あすなろパン』と『繁次郎温泉』で絶賛好評発売中。

何と言っても当法人のソフトクリームは安くてうまいのが特徴。

無調整の牛乳で作られたソフトクリームが150円で食べられます。
あすなろパンでは、カップで『あまおうの特選いちごジャム』・『りんごジャム』・『モモジャム』
をトッピング出来ます。(各200円)

是非、是非ご賞味下さい!!!



バニラ
150円



あまおうの特選イチゴジャム
200円
※あすなろパン限定



モモジャム
200円
※あすなろパン限定



りんごジャム
200円
※あすなろパン限定

編集後記

この度、胆振東部地震被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

停電の影響を受け、法人で災害備蓄製品の製造を行っている事に助けられながらも、日頃当たり前前に生活の一部になっている電気のありがたさが身に沁みました。

障がい特性上、停電により普段のルーティーンが崩れる事を受け入れられない方々の悲痛な叫びに、ただ側で寄り添う事しか出来ず心が痛みました。

今年の夏は猛暑が続き、熱中症対策にも頭を悩まされ、世界各地でも猛暑に大雨に地震にと「明日は我が身」という言葉が相応しく思う今日この頃ですが、便利な時代を生きる私たちだからこそ、忘れてはいけない物があると実感した2018年上半期。

『声なき声に耳を傾けられる職員になりなさい』と先輩に教えられた言葉が、今も私にとって仕事をする上での基本として、利用者さんの前に立たせてもらっているつもりでいますが、自身の無力さを痛感する事の方が多いのが現実です。

平成最後の年.....。

皆さんは“現在”何を思うでしょうか.....。

あすなろケータリングセンター 野崎

お便り「あすなろ」第51号

発行人 社会福祉法人江差福祉会 あすなろ学園
住 所 〒043-0023
北海道檜山郡江差町字田沢町542-3
電 話 0139-52-5577
FAX 0139-52-3187
H P esashi-fukushikai.com/